

前回までに、消費者のニーズに応えるため細心の注意を払って名古屋コーチンの飼育に取り組んでいることを紹介してきました。健健康でおいしい鶏が生まれるということは既にご承知だと思います。採算性の悪

私の種鶏場(春日井市桃山町)で、ふ化、育成、処理、販売まで一貫して取り組んでいます。それは既にご承知だと思います。

名古屋コーチン

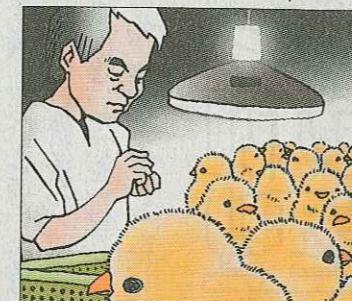


生産から販売まで一貫

い部門を切り離せば、経営は良くなります。ではなぜ一貫経営に徹しているのか。

前回も書きました

稻垣 利幸さん



災害時に避難所や区役所で困っている外国人の通訳や翻訳をする「災害時外国人支援ボランティア」の研修会が二十八日、中村区那古野一の名古屋国際センターであった。写真。

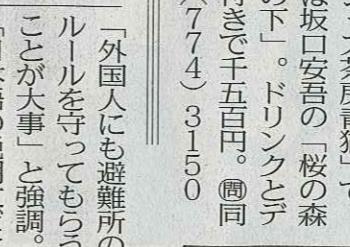
このボランティアは現在、同センターに約四百人が登録しており、約四十人が参加した。まず、NPO愛知ネット事務局次長の山下真志さんが避難所について解説したうえで



この後、参加者はロールプレイングで外国人被災者とボランティア、避難所責任者を交代、実際に問題点を確かめ、会場を災害時の区役所に見立てて、情報伝達のシミュレーションを行った。



地域の防災共助ボランティアなどでの地域貢献を推進する愛知淑徳大有志ボレーションセンターは二十八日、大学周辺で防災イベントを開いた。ほとんどのお客様が大勢の人たちのため、地域同士や学生たちが身近な活動を通して共助



地域の防災共助ボランティアなどでの地域貢献を推進する愛知淑徳大有志ボレーションセンターは二十八日、大学周辺で防災イベントを開いた。ほとんどのお客様が大勢の人たちのため、地域同士や学生たちが身

立派な介助犬になつて



長久手町に建設中の介助犬総合訓練センター(愛称・シンシアの丘)でトレーニングを受けたラブラドルレトリバー種の子犬二匹が二十八日、センターの隣の「平成こども塾」で披露された。

長久手の訓練センター2家族が子犬引き渡し

雄の「リク」と「リツ」。人間に慣れたため、それぞれ蒲郡市の竹内隆裕さん(五三)と名東区の横井智成さん(四二)の家で約一年間、一緒に過ごしてきた。

性格や健康をチェックするため、施設を運営する日本介助犬協会

「リツ」と笑顔で別れる横井さん一家=長久手町の「平成こども塾」で

昨年一月に誕生した

横井さんは「家庭を明るくする存在になるとともに、リツ自身もいっぱい抱きしめた。いた。

二匹は夏までに同施設に入り、デビューに向けて訓練を受ける。

課題本は坂口安吾の「桜の森の満開の下」。ドリンクとデザート付きで千五百円。(圓同会=電(774)3150)

第一回の「名古屋文学サロン月曜会」は四月六日午後二時から、名東区藤が丘の「ジャズ茶房青猫」で。題本はドストエフスキイの「罪と罰」や、夏目漱石の「こころ」など、著名でも意外と読んでいない人の多い古典が中心。好きなシーンや感想を話し合う。

インターネットの会員制サイト「ミクシィ」を通じて参加者が増えたことから、会員の九割以上が二十、三十代。会に興味があるても、若い

4月に発足する読書サークルについて話し合つメンバー一一名東区藤が丘のジャズ茶房青猫で

4月に発足する読書サークルについて話し合つメンバー一一名東区藤が丘のジャズ茶房青猫で

イント「ミクシィ」を通じて参加者が増えたことから、会員の九割以上が二十、三十代。会に興味があるても、若い

4月に発足する読書サークルについて話し合つメンバー一一名東区藤が丘のジャズ茶房青猫で

50、60代に配慮ネットを通じ若者増50、60代に配慮

第一回の「名古屋文学サロン月曜会」は四月六日午後二時から、名東区藤が丘の「ジャズ茶房青猫」で。題本は坂口安吾の「桜の森の満開の下」。ドリンクとデザート付きで千五百円。(圓同会=電(774)3150)

第一回の「名古屋文学サロン月曜会」は四月六日午後二時から、名東区藤が丘の「ジャズ茶房青猫」で。題本は坂口安吾の「桜の森の満開の下」。ドリンクとデザート付きで千五百円。(圓同会=電(774)3150)

シニアの読書会 来月発足

市内の読書好き約500人が集まる「名古屋文学サロン月曜会」から新たに、50、60代向けの読書サークルが4月6日に発足する。若者の活字離れが言われるが、月曜会ではインターネットを通じて若い会員が増え、ちょっぴり敷居が高くなつたシニア世代に配慮した。

(猪飼なつみ)

名古屋文学サロン月曜会



人が中心の読書会と聞いてあきらめてしまう人が多かった」と山本さん。そこで文学好きなシニアのための読書会も用意することにした。

現在最年長の米本敏昭さん(六四)・名東区(は)は「同じ作品について話し合うから世代の違いはそれほど感じない。でも、同じ世代の人が入ってきたれば、例えば本に出てきた

授業は全八回。木俣さんは、まず第一回「キリスト教の歴史と美術」、第二回「キリスト教の図像を読む」で、キリスト教の基礎知識やヨーロッパの美術などを探る新講座「美術から見てくるキリスト教の歴史」が、四月二十日から毎月第一土曜日で始まる。名古屋大教授の須綱美由紀さん、栄山女学園大講師の小野康子さんが講師を務める。

吉文化センターだより

吉文化センターだより

吉文化センターだより

吉文化センターだより